

第6-1号

# 耕人

『耕人塾』

塾長 木村 民男

平成29年6月17日(土)

## 第6期 『耕人塾』で目指しているもの

平成24年10月に『耕人塾』がスタートして今年で6年目を迎えます。『耕人塾』の趣旨は、「石巻地域の中・高校生の「人間力」を磨き、地域社会に貢献する人材を育成し、併せて、大学生や市民の学びの場にする」ことです。第6期のテーマを「世界に誇れる石巻地域にしよう～発信！未来へ～」にし、実践事項を「あいさつ・清掃・ゴミ拾い」にしました。これまでの活動が認められて、石巻専修大学、宮城県教育委員会、石巻市・東松島市・女川町教育委員会の他、河北新報社、石巻日日新聞、石巻かほく、ラジオ石巻からも後援をいただきました。また、『耕人塾』を支えてくれる組織として運営員18名、指導委員27名、指導委員(学生部)13名、協力者22名の他、サポーターが92名、計172名の方々が物心両面から協力してくれています。

特に今年度は、これまでの実績を踏まえて、サブテーマである「発信！未来へ」を柱にし、4つのプロジェクトを立ち上げましたので紹介します。

**「プロジェクトK」**：「K」は耕人塾のKであり、川開き祭りのKです。川開き祭りは石巻地方最大のイベントですが、毎年ゴミの苦情が多く寄せられています。祭りが終わった早朝にゴミ拾いをしていますが、今回は祭りの中でゴミを少なくできないかというプロジェクトです。

**「プロジェクト実践活動」**：『耕人塾』の実践活動は「あいさつ・清掃・ゴミ拾い」で、年間4回予定しています。市民を巻き込んだ楽しい活動にしていくためのプロジェクトです。

**「プロジェクト宿泊研修」**：8月5日(土)6日(日)に1泊2日の宿泊研修を南三陸町の「さんさん館」で実施します。充実した研修になるようその内容を考えるプロジェクトです。

**「プロジェクトI」**：「I」は石巻のIであり、愛情のIでもあります。石巻地域を世界に誇れるまちにするためにどんなことをどのようにやっていけばよいかを考えるプロジェクトです。

その他に、学生部が中心となって「未来石巻市政策コンテスト」への参加や『耕人塾』主催の講演会なども検討しています。また、耕人塾の活動の中で、塾生の主体性や積極性をどう発揮してもらおうかということ指導委員会で工夫検討しています。そのために、研修会や活動の中に、塾生の考えや発想などを取り入れていきたいと考えています。『耕人塾』での「学び」は、与えられるものではなく、自ら求めていくものだからです。

塾生の皆さんは、生徒会活動や部活動、学校の勉強等で多忙な時期ですが、自分の「人間力」を磨き、地域や社会に貢献しようという高い志をもって集まったことに敬意を表します。また、お子様の送迎をしていただく保護者の方々に深く感謝申し上げます。私たち指導者も若い人材を育てるために全力を尽くしたいと決意を新たにしています。『耕人塾』で育った人たちが、3年後、5年後、10年後に石巻地域を牽引する人になってくれることを期待しています。

### 「志を立つ」(橋本左内「啓発録」から)

幕末の志士である橋本左内は15歳(満14歳)の時に自分の生き方の指針として記した5か条が「啓発録」です。その中に「志を立つ」があります。左内は「志とは、自分の生き方の決意を固めることである。志を立てるには、聖賢(せいけん)の教えや歴史の書物を読んで、その中から深く心に感じた部分を書き抜いて壁に貼り、いつもそれを眺めて自己を省みて、自分の足らぬところを努力することが大切である。そして、自分が少しずつ前進するのを楽しみとすることである。」と記しています。「志」とは、自らの意志で自己を成長させ、地域社会に貢献していくことです。塾生の皆さんも各自の「志」を立て、今日から新たな自分をつくって行くために歩み出しましょう。皆さんがどのように成長するか楽しみます。